

コード 54072

### Fibronectin Neosilk®, Cellular

容量 : 1 mg

ロット No. :

有効期限 :

はじめに : 細胞性フィブロネクチンは、細胞が自分自身の生育環境を整えるために自らの周囲に合成するアイソフォームです。細胞から分泌された細胞性フィブロネクチンは、速やかに重合しマトリックスを形成します。生体では、細胞増殖が盛んな組織に検出されることから、細胞増殖や移動に関係していると考えられています<sup>1)</sup>。また、組換え体を用いた直接的な評価も行われており、細胞の接着や移動性に優れ<sup>2)</sup>、さらに、細胞増殖を促進する可能性も示唆されております<sup>3)</sup>。

Fibronectin Neosilk®, Cellular は、ヒト細胞性フィブロネクチンにおいて多く見られるスプライシング変異体(EDA、EDB および IIICS セグメントを有する)<sup>4)</sup>を遺伝子組換えカイコにより発現させ、この変異体短鎖のホモダイマーとして生産した組換えヒトフィブロネクチンです。天然型の血漿フィブロネクチンと同等(または同等以上)の細胞接着活性を有し、動物由来物質を含まないことを特徴としています。間葉系幹細胞をはじめとする様々な培養細胞のコーティング剤として使用できます。

内容物 : 組換えヒトフィブロネクチン(EDA+, EDB+, IIICS+)ホモダイマー

由来 : 遺伝子組換えカイコにて発現させ繭から抽出

精製方法 : マルチモーダルカラム 2 段階精製(ゼラチンカラム不使用)

包装形態 : 2 mL の 10 mM Tris-HCl, pH8.0, 2%スクロースに溶解したものを凍結乾燥

保存方法 : 凍結乾燥品は、2~10°Cで保存してください。

再生方法 : 2 mL の滅菌された精製水をバイアルに加え、室温で 30 分静置してください。再生後のフィブロネクチンの濃度は、0.5 mg/mL になります。再生後、溶液中に白い凝固物がみられる場合がありますが、濃度に影響はありません。

再生後の使用方法 : 2~10°Cで保存いただく場合は 2 ヶ月まで使用できます。-20°C以下で保存いただく場合は、小分けして保存し、凍結融解を繰り返さないようにご使用ください。少なくとも 6 か月安定です。

コーティング方法(例) : 再生後の溶液を PBS(-)等で希釈して、1~5 µg/cm<sup>2</sup>になるようにデッシュにコートします。例えば 6 ウェルプレート(9.6 cm<sup>2</sup>/ウェル)に 2.5 µg/cm<sup>2</sup>になるようにコートする場合(24 µg/ウェル)、12 µg/mL に希釈したフィブロネクチン溶液を 2 mL 添加します。37°Cで 1 時間保温した後、溶液を除去し、PBS(-)で一回洗浄して細胞を播種します。

参考文献 : 1. Ffrench-Constant C et al, J Cell Biol. 109, 903 (1989)  
2. Manabe R et al, J Biol. Chem. 139, 295 (1997)  
3. Manabe R et al, J Biol. Chem. 274, 5919 (1999)  
4. To WS, Midwood KS., Fibrogenesis Tissue Repair 4, 21 (2011)